

カリキュラム

コースNo. K18-13-A05-003

機関名：株式会社パワートレイン

(A)IT理解	業務のIT化	IT化を推進するためのつながる業務への理解
---------	--------	-----------------------

到達目標	企業活動において、ITを活用して業務を効率化する上で必要な前提知識である「つながる」ことの重要性和情報とデータの関係性を正しく理解する。
------	--

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
指導内容	1	つながる業務の重要性	<p>(1)時代に合わせた働き方の変化 1980年代からこれまでの情報通信技術の発達と職種や業種の変化、それに伴う働き方の変化を紹介します。</p> <p>(2)企業が直面している課題【演習あり】 現在発生している企業課題(採用難、後継者不足、生産性の向上)を説明します。 今後5年後、10年後の社会を見据えて現在の自社の状況(それらの変化に対応出来る準備が出来ているのか?)を考察・検討します。</p> <p>(3)地域企業の取り組み(事例紹介) 「つながる工場」として製造業、「つながる仕事」として介護業、「つながる人」として人材業をそれぞれ事例として取り上げ、IT技術を活用してこれからの変化に対応する準備の進め方を紹介します。また、取り組みを実現するためのIT技術や考え方を解説します。</p> <p>(4)情報をつなげることの重要性【演習あり】 情報共有方法の現状と課題を解説します。 情報と情報をつなげる(見える化する)ことによる生産性の向上を説明します。演習方式で受講者の昨日一日の業務内容をまとめていただき、どんな業務や情報をつなげることで業務改善が出来るか、課題を検討します。</p>	0.5 1.5 1.5 1.5
	2	情報とデータの関係	<p>(1)データの重要性 これまでの経験の中で蓄積された有形無形のノウハウを次世代に継承していくために必要な情報を「データ化」することの重要性について説明します。人材育成の観点からは、仕事の教え方を変えていく必要があることも併せて説明します。</p> <p>(2)データと意味を持ったデータ(情報)の違い データを蓄積するときには、それらを通じて伝えたいことを明確にすることが重要であり、それによってデータが意味を持った「情報」となり得ることを説明します。併せて、数値の持つ意味を分かりやすく伝えるため、グラフなどで「見える化」する手法も例示します。</p>	0.5 0.5
合計時間			6.0	